

■開講日 (全10回)

回	月	日	集合地/時間	探訪地	内容	ジャンル
1	5月	10日(木)	竜王町公民館 10:00~12:00		紙芝居で学ぶ地域の伝承 ★開講式と歴史・紙芝居	
2	6月	9日(土)	竜王かがみの里 9:30~15:00(予定)	鏡・西横関	JRふれあいハイキング「義経伝承の鏡宿〜東山道歴史散歩」 ★鏡神社〜長者石臼〜西横関・舟橋跡	街並の話 《現地研修》
3	7月	5日(木)	竜王町公民館 13:00~15:00	東近江市	額田王ゆかりの地を訪ねて ★市神社・額田王立像	交流研修 《現地研修》
4	9月	15日(土)	苗村神社 9:30~15:00(予定)	綾戸・川守	JRふれあいハイキング「万葉のいぶき」を探訪 ★龍王寺・苗村神社の史跡と伝承	文化財の話 《現地研修》
5	10月	4日(木)	竜王町公民館 13:00~15:00	小口	★小口の歴史と文化財	在所の話 《現地研修》
6	11月	8日(木)	竜王町公民館 13:00~15:00	善光寺川流域	新企画【流域散歩】善光寺河畔を歩く ★善光寺川の歴史と伝承	河川の話 《現地研修》
7	12月	6日(木)	竜王町公民館 13:00~15:00	七里と大洞川	新企画【流域散歩】大洞川河畔を歩く ★石部神社と大洞川の散策	河川の話 《現地研修》
8	2019年1月	10日(木)	竜王町公民館 11:00~14:00(予定)		《新年ランチ会》*ランチ代別途 ★「天日槍」のお話と郷土料理の昼食会	おいしい話
9	2月	7日(木)	竜王町公民館 13:00~15:00	薬師	★「勝手神社の謎」	在所の話 《現地研修》
10	3月	7日(木)	竜王町公民館 10:00~12:00		☆閉講式と振り返り	

※上記以外にも受講生自身によるオプション企画を実施する予定です。
※開講日・内容は天候や諸事情により変更・延期・中止する場合がございます。

平成30年度 「竜王観光ボランティアガイド養成講座」開催

竜王町には多くの歴史文化遺産があります。今年度も身近な歴史を学び、その良さを伝えていく「竜王観光ボランティアガイド養成講座(2018年度郷土史を楽しむ学ばな村塾)」を開催します。皆様の受講をお待ちしています。

- 主催 竜王町歴史倶楽部
 - 協賛 竜王町観光協会
 - 定員 15名程度
 - 講師 竜王町教育委員会職員他
 - 受講料 3,000円/年
 - 受講料 入館料等の実費負担あり
 - 申込先 竜王町観光協会
- ☎58-3715

平成29年度主な後期事業(平成29年10月~平成30年3月)

- 10月1日(日) こにゃん街道キャンペーン(御在所岳サービスエリア)
 - 10月8日(日) 田んぼのオーナー「稲刈り体験」
 - 10月9日(月祝) 竜王町射流し大会
 - 10月15日(日) まるごと竜王産スキヤキプロジェクト with 近江牛の大鍋事業
 - 10月20日(金) 中山道ウォーキング(鏡山〜武佐宿〜五箇荘〜愛知川宿)
 - 10月22日(日) 田んぼのオーナー「収穫祭」
 - 11月25日(土) 歴史ウォーク〜風土千年 竜王鏡山ハイキング〜
 - 12月1日(金)-3日(日) 町イチ!村イチ!2017 出店
 - 12月14日(水) 健康まつりウォーキング
 - 12月23日(土)-24日(日) グランまるしえ
- 平成30年
- 1月14日(日) 名古屋・金山キャンペーン
 - 2月1日(木)-4月1日(日) 竜王のひな人形めぐり
 - 2月24日(土) つるし雛作り体験
 - 2月25日(日) ひな祭りお茶会
 - 3月8日(木) 中山道ウォーキング〜浮世離れのバーチャル体験〜
 - 3月17日(土)-18日(日) 福岡・博多キャンペーン
 - 3月17日(土)-18日(日) 竜の宝さがし
 - 3月24日(土)-25日(日) 竜の宝さがし(元服衣装着付け体験)
 - 3月24日(土) 鏡の里元服式



福岡・博多キャンペーン



ひな祭りお茶会



歴史ウォーク オウゴ古墳



射流し大会

ふれあいハイキング参加者募集

街道歴史散歩 2018
東山道・鏡宿界隈を往く

実施日: 平成30年6月9日(土)
集合地: JR琵琶湖線 篠原駅南口
解散地: 道の駅竜王かがみの里
集合時間: 受付9時30分(解散15時頃)
歩程: 約6km
参加費用: 500円(保険料、資料代、ガイド料)

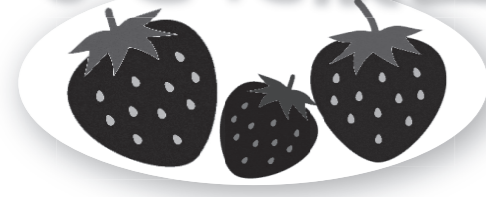
詳細・お問合せ 竜王町観光協会
電話: 0748-58-3715
FAX: 0748-58-3730
Eメール: dragon-kanko@rmc.ne.jp

竜王八景の看板が新しくなりました
ぜひ巡ってください!

〜竜王八景〜

- ①苗村神社
- ②半礼公園
- ③石部神社
- ④妹背の里
- ⑤鳴谷の石床
- ⑥鏡山と新池
- ⑦鏡神社と御幸山
- ⑧農林公園

ひさだ農園



竜王町西横関725 TEL 090-3990-4288

竜王の特産品グループ

竜王ドラゴン屋台村

蒲生郡竜王町小口3番地
TEL 0748-58-3715

新たな人生の門出 「鏡の里元服式」

鏡神社
道の駅
「竜王かがみの里」

去る3月24日(土)、義経が元服した町内鏡の里でいにしへの成人式を体験する「鏡の里元服式」が鏡神社の新拝殿で行われ、県内外から参加した11名(男性4名、女性7名)が、古式にのっとりた儀式に臨み神前でそれぞれ決意を新たにしました。

承安4年3月3日、牛若丸(遮那王)が京都から奥州へ向かう途中、義経は、鏡の宿で元服し「源九郎義経」と名を改めたと伝えられています。義経ゆかりの地をテーマに町おこしになればと、平成18年3月5日に始まり、今年で12回目となりました。

式は、義経にちなむ重直(ひたれ姿の男性と白拍子姿の女性)が道の駅「竜王かがみの里」から鏡神社まで斎行、神社の拝殿に整列し、参加者らは緊張した面持ちで儀式に臨みました。

鏡神社では、林宮司の祝詞奏上に続いて、氏子総代の皆さんが諸役を務め、刀を頭髪にあてる「髪上げの儀」、烏帽子(えぼし)を冠る「加冠の儀」を執り行いました。儀式の後、平安文化を今に伝える京都の「日本今様舞楽会」の皆さんが静御前が今様調に合わせて舞ったと伝わる奉



「記念セレモニー」道の駅竜王かがみの里

納舞を神前で披露してくださいました。式に駆けつけてくださった西田町長と体験者、諸役等は記念写真を撮影した後、道の駅「竜王かがみの里」に移動しました。特設ステージで開催された「記念セレモニー」では元服体験者を紹介、西田町長からお祝いの言葉が贈られました。

直会(なおらい)では鎌倉時代の武士の祝い膳を再現した「義経元服料理」を装束姿で味わいました。吹田市の田端碧(たばたあおい)さん(13歳)は「貴重な体験ができました。この体験を糧に頑張っていきたいと思います」と語られました。



「修祓の儀」



「祝詞」



「髪上げの儀」



「加冠の儀」



「直会」



「元服料理」

シリーズふるさと探訪 72 左右神社(橋本)

祭神は、伊弉諾尊(イザナギノミコト)、伊弉那美尊(イザナミノミコト)。橋本左右神社古文書の1号が鎌倉時代末期に出されていることから平安時代から鎌倉時代にかけて創建されたのではないかと考えられます。

左右神社は往時の武久村に鎮座しており、尊勝寺の所領地であることから交易を免じられた由緒ある村の神社です。社寺仏堂明細書によると往時の左右神社は近郷七カ村の総社であり庵室も存在しました。その後、苗村神社が33余郷の総社となり、橋本村と武久村以外の氏子は離散したと記載されています。過去は「相宮」、「左右宮」などと呼ばれていました。

左右神社文書は滋賀県指定文化財であり、当社宝物庫に保管されていた古文書群で、宮座や売券などの記録が残っています。古文書は中世・

近世のもので、大別して多くは各種寄進状、神田、八講料足等の文書で、織田信長時代のものが多く、現在は安土城考古博物館に寄託されています。

境内からは平安時代の鏡や大般若波羅蜜多經などが出土しており、大般若波羅蜜多經の輪説会は現在でも年2回(1月と6月)行われています。

左右神社の名前の由来は、◇祭神(男神、女神)を左右に見立てたもの。◇橋本村と武久村を左右に見立てたもの。◇惣村を左右に見立てたものと言われています。橋本は苗村神社の祭礼時の警護役であり「騎籠」と呼ばれています。祭礼時、橋本から見ると、33郷の行列が左右に分かれることからという説もあるが、確かなことは分かりません。

他にも「日本の神々」(白水社)によると、「左右」の名称は伊弉諾尊と伊弉那美尊を左右に見立てたものか、古く橋本を形成した橋本地



橋本の左右神社